※外来診察表

2026年 11月号

神戸徳洲会病院月刊通信

# こべとく通信

ドクターズコラム その47

## 70年代ポップスについて

形成外科
はらもと うしお
原元 潮

皆さんは音楽がお好きだと思いますが、私も音楽が大好きです。今回は私の音楽の趣味についてお話いたします。最初に音楽が好きになったのは、中学2、3年生だった1974年の時、ラジオから流れてきたカーペンターズの「イエスタデイ・ワンス・モア」がきっかけでした。それからカーペンターズ、ビートルズ、ジョン・レノンなどを聴いていたのですが、当時の音楽好きの中学生の間では「ダサい奴」と思われていました。アーティストの間には謎のダサさのランクがあり、「カーペンターズ＜ビートルズ＜ディープ・パープル＜レッド・ツェッペリン」といった具合で、特にツェッペリンの『天国への階段』が音楽好きの間でもてはやされていました。

仲の良かった友人は吉田拓郎から一気に飛び越えて、ブルースを聴くようになりました。何やら「3大キング」といって、B.B. キング、フレディ・キング、アルバート・キングを神格化していました。それなら私はもっと難しいのを聴いてやろうと、「レゲエ界の神様、Bob Marley を聴くぞ」と言ったら、その友人に「やめとけ、難しすぎる。宗教を理解してなかったら聴けない」と言われました。じゃあ何を聴くかと考えた末にジャズに決め、マイルス・デイヴィスの『ラウンド・ミッドナイト』を聴き始めました。最初は正直「なんじゃこりゃ？」という感じでしたが、1日中聴いているうちに素晴らしさが分かりました。その時初めて「趣味というのも、苦難を乗り越えた先に別世界が広がっている」ことに気づきました。私の中学時代の大きな悟りでした。

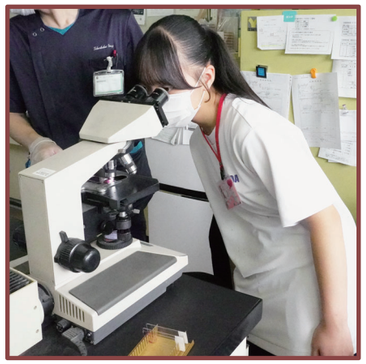
中学時代に流行っていたのが、アントニオ・カルロス・ジョビンの『イパネマの娘』でした。ボーカルのアストラッド・ジルベルトは、ギタリストのジョアン・ジルベルトの奥様で、プロの歌手ではなくアドリブで起用されたそうです。妙に弱々しい歌い方が特徴的でしたが、これが大ヒットしました。私はこの曲が大好きになり、これが「ボサノバ」というブラジルの音楽であることを知って、いつかブラジルに行きたいと思うようになりました。大学を卒業するときに、その夢が叶いました。まずはロサンゼルスまで行ってそこでリオ行きのチケットを買い、苦労しながらやっとリオの空港にたどり着いた日のことをよく覚えています。空港からバスに乗ったとき、車内に「サンバ」が流れていました。きっと皆さんも思われているかもしれませんが、私が想像していた「賑やかでうるさい音楽」とは全然違いました。とにかく軽やかなリズムで、ふわふわ浮き立つような、明るい幸せ感に溢れていました。そしてリオの町は、イパネマ海岸、コパカバーナ海岸、シュガーローフ、コルコバードの丘など名所があり、ロマンチックなところでした。町中はサンバに包まれ、路上にはサンバの楽団が溢れていました。サンバを聴いているうちに、明るい曲調の中にも郷愁（きょうしゅう）が漂っていることに気づきました。それは意図的に表現されたもののようで、この郷愁の感覚を「サウダージ」と言うのだそうです。そして、ボサノバもそんなサンバの延長上にある一つのバリエーションであることに気づきました。リオに再び訪れる機会がありましたが、その時はもう街中にサンバはありませんでした。ブラジルも変わっていくのだと、しみじみと感じさせられました。

2026年の今でも、大好きな曲はどういうわけか70年代のものばかりです。やっぱり70年代の曲は素晴らしいと思っていますが、私がその年代の人間だから、そう思うだけなのかな？ 皆さん、70年代のポップスは聴いていますか？

## 10月のトライやる・ウィーク

2026年10月7日(水)～9日(金)、トライやる・ウィークで福田中学校の女子生徒１名の職場体験を受け入れました！最終日には中学生から「同級生の誰よりも充実した体験ができた自信がある」との感想を聞かせてくださいました。数多の事業所からご自身の意思で当院を一番にお選びいただき病院のあらゆる職業に積極的に体験をしてくださり嬉しく思っています。地域貢献活動として、引き続き 11 月も複数校の中学生の職業体験をお受けいたします。

神戸徳洲会病院に来てくれてありがとう！



## さすまた講習会

2026年10月13日(火)、当院に垂水警察署の方を講師としてお招きし、さすまた講習会を開催いたしました。当日は２部制で医師や看護師、コメディカル、事務員まで幅広い職種の職員が参加いたしました。講習会では、日頃の防犯対策として職員が出来ることや、院内に設置しているさすまたを用いて現場で取るべき行動を実践的に学ばせていただきました！さすまた講習会の開催は今年で２度目ですが、講師の皆様、今回も大変貴重なお時間をありがとうございました。

**「刺股(さすまた)」とは** 凶器等を持った不審者を押さえて自由を奪う護身道具です。

## 看護師の院内研修

### ラダーⅡ　フィジカルアセスメントリーダー育成研修

2026年10月24日(土)、グループ病院である岸和田徳洲会病院のクリティカルケア認定看護師を講師に、当院の看護師同士でグループワークを行いながら患者様の状態の観察・フィジカルアセスメント（身体的評価・査定）について学習させていただきました！学びを活かし、看護の質の向上に努めていまいります。

## こべとくBABY

### 8月20日 産まれ　男の子

♥お母さんからのメッセージ♥

逆子のため、帝王切開での出産が決まり急遽こちらの病院でお世話になることになりました。不安もありましたが、先生方・助産師さん・看護師さんがいつも優しく声をかけてくださり、たくさん支えていただきました。この病院で産むことができて良かったと心から思っています。ありがとうございました♡

### 8月24日 産まれ　女の子

ご出産、おめでとうございます♡

### 8月30日 産まれ　男の子

♥お母さんからのメッセージ♥

初回健診から陣痛中、入院中、退院まで手厚いサポートをいただきありがとうございました。不安がいっぱいでしたが、その都度相談にのっていただき心強かったです。エステも、追加料金払って追加したいほど良かったです。

### 9月15日 産まれ　女の子

♥お母さんからのメッセージ♥

健診から出産まで先生方、助産師さんがアットホームな雰囲気で通いやすく相談もしやすかったので安心して出産することができました。ありがとうございました。